

平成 23 年度 天文学振興財団研究助成事業報告

1. 研究助成・国際研究支援事業

(1) 国際交流支援事業

①岡本 功 (国立天文台 名誉教授)

渡航目的: Ginzburg Conference on Physics Theory Department,
Levedev Physical Institute Moscow に出席・講演するため
24. 5. 27~24. 6. 2 ロシア・モスクワ・レベデフ物理学研究所

1 件 12.6 万円

(2) 国際研究集会参加支援事業

①大須賀 健 (国立天文台 理論研究部 助教)

研究集会名: Slim Disk Workshop (Workshop on Black-hole Slim Accretion Disks)
23. 7. 1~23. 7. 8 ポーランド・ワルシャワ

②出口 真輔 (熊本大学 自然科学研究科 理学専攻 博士前期課程 2 年)

③Roh Soonyoung (名古屋大学 理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻 博士後期課程 1 年)

④島袋 隼人 (名古屋大学 理学研究科 理論天体物理学研究室 博士前期課程 1 年)

⑤市川 幸平 (京都大学 理学研究科 宇宙物理学教室 博士前期課程 2 年)

⑥三木 洋平 (筑波大学 数理物質科学研究科 物理学専攻 博士後期課程 1 年)

⑦榎谷 玲依 (名古屋大学 理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻 博士前期課程 2 年)

⑧水野 いずみ (鹿児島大学 理工学研究科 物理・宇宙専攻 博士前期課程 2 年)

⑨荘 思寧 (鹿児島大学 理工学研究科 生命環境科学専攻 博士後期課程 1 年)

⑩柏野 大地 (名古屋大学 理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻 博士前期課程 1 年)

研究集会名: The 5th Korea-Japan Young Astronomers Meeting 2012 (KJYAM2012)
24. 2. 22~24. 2. 24 韓国・ソウル市

10 件 51.8 万円

(3) 国際研究集会開催支援事業

①渡邊 鉄哉 (国立天文台 太陽天体プラズマ研究部 教授)

研究集会名: GUAS Asian Solar Physics Winter School
(総研大・太陽物理学・アジア冬の学校)

24. 1. 23~24. 1. 26 日本・東京都三鷹市

②関本 裕太郎 (国立天文台 先端技術センター 准教授)

研究集会名: International Symposium on Space Terahertz Technology (ISSTT)
(スペーステラヘルツ技術国際シンポジウム)

24. 4. 2~24. 4. 4 日本・東京都千代田区

2 件 140 万円

2. 普及啓発活動事業

(1) 「アジアの星」ワーキンググループ会合に係る旅費の支援

- ①第19回「アジアの星」ワーキンググループ会合
23. 5.13 (東京都 三鷹市)
北尾浩一、古屋昌美
- ②第20回「アジアの星」ワーキンググループ会合
23. 7.15 (東京都 三鷹市)
嘉数次人、北尾浩一、古屋昌美
- ③第21回「アジアの星」ワーキンググループ会合
23. 9.30 (東京都 三鷹市)
嘉数次人、北尾浩一、古屋昌美
- ④第22回「アジアの星」ワーキンググループ会合
23. 11.25 (東京都 三鷹市)
嘉数次人、北尾浩一、古屋昌美
- ⑤第23回「アジアの星」ワーキンググループ会合
24. 2.17 (東京都 三鷹市)
北尾浩一、古屋昌美

13件 38.1万円

(2) スター・ウィーク支援

- 事業名称 : スター・ウィーク協賛イベントに対する支援
主催 : スター・ウィーク実行委員会
支援イベント : * 「親子星空観察会」
山中温泉ゆけむり倶楽部 (石川県 加賀市)
* 「Star Festa 2011 ～親子でわいわい星まつり」
坂下星見の会 (三重県 亀山市)
* 「『はやぶさ』で元気になろう！」
会津そらの会 (福島県 会津若松市)
* 「七夕星まつり」
尾鷲市立天文科学館 (三重県 尾鷲市)
* 「スター・ウィーク 2011」
高知大学天文系サークル星の会 (高知県 高知市)
* 「星空教室～手作り望遠鏡で星を見よう！」
奈良市生涯学習財団 (奈良県 奈良市)
* 「そのねがい きっとかなうよ スター・ウィーク」
星の文化館 天文倶楽部ティコ (福岡県 八女郡)
* 「土星・お月さまを撮っ TAKE! 持っ TAKE!」
ソフィア堺 (大阪府 堺市)
* 「スター・ウィーク」
国立天文台実行委員会事務局 (東京都 三鷹市)

9件 50万円

(3) ハワイ関連支援

ハワイ大学ヒロ校より、天文学教育プログラムP I S C E S (Pacific International Space Center for Exploration Systems) に用いる機器の整備に関する支援要請がありました。

ハワイ大学ヒロ校主催のP I S C E Sは、NASAマーシャルスペースフライトセンター主催の「月面への隕石衝突の監視プログラム」に参加しています。二組の小型望遠鏡とCCDカメラを購入し、これを用いて月面の暗い部分を観測し、NASAが提供するソフトウェアでデータ処理を行い、NASAが集積するデータベースに登録します。このプログラムによって、学生たちは実際の観測とデータ処理に比較的容易に参加することができ、天文学への関心を大いに高めることができると期待されます。また、このプログラムで得られた月面への隕石の衝突の統計的データは、将来の月探査ミッションに役立てられることになっており、科学的意義も大変高いといえます。

80万円

(4) モンゴルにおける科学館建設に関わる建設責任者グラグッチャ氏の訪日に係る助成

Mr. Jugderdemidiin Gurragchaa

23.12.5～23.12.9 日本・東京都

モンゴルと日本の天文学・天文教育における連携の為、来日。

ウランバートルに建設中のモンゴル初の科学館の建設・運営を支援しました。

1件 26.2万円

(5) 平成23年度国立天文台三鷹地区・東京大学天文学教育研究センター特別公開「三鷹・星と宇宙の日2011」に係る助成

国立天文台 天文情報センター 普及室長 縣 秀彦

23.10.21～23.10.22 日本・東京都・三鷹市

一般への天文学啓発を目的とし、最新の天文学効果と天文学研究の状況を紹介しました。

【支援物品】・クリアファイル 15,500枚
・ポストカード 6,350枚
・天文学ビデオ 689枚

1件 2,076,941円